

企画展「市制90周年記念 近代川崎人物伝」 2014年6月7日(土)～8月24日(日)



川崎市は今年、市制90周年を迎えます。大正13年(1924)7月1日、人口約4万8千人で誕生した川崎市は、時代とともにその市域を拡大させ、現在では約145万人が住む大都市となりました。川崎市が現在の姿になったのは、その発展を願った多くの人々の努力によるものです。

本展では、初代川崎市長として、産業都市川崎の礎を築いた石井泰助をはじめ、地域の発展や継承に貢献した安藤安、池上幸操、上田忠一郎、井田文三、鈴木久弥、森安治郎、岡重孝、平川平五郎、美須鑽、箕輪政次郎・亥作・嘉夫、の13人について、その人物像と業績を紹介します。

是非、貴メディアにてご紹介くださいますよう、お願いいたします。



初代川崎市長 石井泰助



丸子橋



多摩川治水同盟會員

市制90周年記念 近代川崎人物伝

- 会 期：2014年6月7日(土)～8月24日(日)
会 場：川崎市市民ミュージアム 企画展示室2
開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)
休 館 日：毎週月曜日(ただし月曜日が祝休日の場合は開館)、7月22日(火)
観 覧 料：一般500円(400円)、65歳以上・大学・高校生400円(320円)、
中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金
主 催：川崎市市民ミュージアム
後 援：朝日新聞川崎支局・NHK横浜放送局・神奈川新聞社・かわさきFM(79.1MHz)・
産経新聞社横浜総局・東京新聞川崎支局・日本経済新聞社川崎支局・毎日新聞川崎支局・
読売新聞川崎支局(五十音順)
協 力：株式会社 チッタ エンタテインメント

【お問い合わせ】

川崎市市民ミュージアム 企画広報担当/馬場・御簾納 学芸室担当/望月・高橋
〒211-0052 川崎市中原区等々力1-2
TEL 044-754-4500 FAX 044-754-4533 ホームページ <http://www.kawasaki-museum.jp>

川崎市制90周年記念 近代川崎人物伝 人物概略

石井泰助 1865－1931 川崎宿の材木商吹田屋に生まれる。明治30年に川崎町長となり、以来3度町長を務め、その間に工場招致に尽力。大正13年の市制施行に伴い、初代市長となる。産業都市の礎を作った。墓は、川崎区の徳泉寺。稲毛神社に頌徳碑が建っている。

安藤 安 1874－1938 旧小杉村の名主家に生まれる。中原郵便局長、中原村会議員、学務委員などを歴任する。大正15年には中原町長となり、川崎市との合併に努めた。特に丸子橋の架橋に、長年にわたり尽力し、地域の発展に貢献した。墓は、中原区の西明寺。

池上幸操 1855－1926 池上新田を開発した池上家に生まれる。明治12年に県議員に当選。自由党に入党して、自由民権運動でも活躍した。特に、多摩川改修問題について尽力した。また関東大震災後には、特別都市計画委員会委員や同潤会評議委員となり、復興にも活躍した。墓は、大田区の池上本門寺。

上田忠一郎 1848－1914 溝口の醤油醸造業稲毛屋に生まれる。明治12年に県議員となり、自由党に入党して、自由民権運動で活躍。溝口という地の利から、川崎周辺の民権運動家たちとの交流も深く、中心的な人物であった。また、地域の鉄道事業などにも貢献した。墓は、高津区の宗隆寺。

井田文三 1853－1936 旧長尾村の名主家に生まれる。明治11年に橋樹郡役所の書記を務め、のちに改進黨に入党し民権運動で活躍するとともに、県議員にもなっている。民権運動では、新聞に積極的に論考を寄稿し、各氏と論戦を交わした。墓は、多摩区の妙楽寺。

鈴木久弥 ?－1908 西多摩郡の石塚家に生まれ、後に旧長尾村の豪農鈴木家に養子として入る。明治12年に県議員となり、自由民権運動においても指導者的な活躍をする。また私財を投じ、鈴木学舎を創立するなど、地域の教育・文化にも貢献。墓は、多摩区の妙楽寺。

森 安治郎 1863－1941 旧川崎宿で問屋役を務め、砂糖商藤屋の子として生まれる。川崎町会議員などを務めたのち、大正13年の市制施行時には市議員に当選、また初代市会議長となった。若い時から歴史や骨董に興味を持ち、地域の文化の保存にも貢献した。墓は、川崎区の医王寺。

岡 重孝 1847－1920 西成木村の名主木崎家に生まれ、明治3年久本村の医師岡家の養子となる。漢方医術内科外科を学んでいたことから、明治4年から養家で開業し、明治42年に引退するまで、医師として地域医療に貢献。一方で、明治22年には初代高津村村長として、地域発展にも尽力した。墓は、高津区の大蓮寺。

平川平五郎 ?－? 旧川崎宿の平川家に生まれる。郷土の偉人として、二ヶ領用水を開削した小泉次大夫と、それを中興した田中休愚の二人の顕彰運動に尽力した。あわせて田中休愚に関する古文書などを蒐集するなど、地域文化に貢献するとともに、小泉と田中の二人を川崎の歴史の中に甦らせた。墓は、川崎区の一行寺。

美須 鑽 1887－1972 栃木県烏山に生まれる。大正11年の日暮里での映画館開業を最初に、その後蒲田や川崎、横浜に次々と映画館を建設した。川崎では昭和12年に川崎映画館など7館を開業、戦後も復興の中でいち早く映画館を開業した。そのほかテレビ製造会社やスポーツセンターなども建設し、その映画街はミスタウンと呼ばれた。川崎小学校へのプール寄贈、川崎大師への手水鉢寄進など地域貢献も多数行った。

箕輪政次郎 1859－1913・亥作 1888－1929・嘉夫 1912?－? 細山村に生まれる。政次郎は、明治22年生田村高石に座繰機など農器具を製造する「細王舎」を創立した。その子亥作も細王舎を受け継ぎ、特に大正10年に開発した足踏み式脱穀機は全国に普及した。その子嘉夫も、跡を継ぐ。墓は、麻生区の香林寺。

【お問い合わせ】

川崎市市民ミュージアム 企画広報担当/馬場・御簾納 学芸室担当/望月・高橋
〒211-0052 川崎市中原区等々力1-2
TEL 044-754-4500 FAX 044-754-4533 ホームページ <http://www.kawasaki-museum.jp>